



2022年(令和4年)
9月7日
水曜日

発行所
中部経済新聞社
〒450-8561
名古屋市中村区
名駅4-4-10
編集局 052(561)5212
読者開拓局 052(561)5216
広告部 052(561)5213
事業部 052(561)5675
総務部 052(561)5215

移動販売の支援開始

ダイヤ ハツ 荷箱設置の軽トラレンタル

ダイヤハツ工業は6日、小売業者の移動販売を支援する新サービス「Nibako」(にばこ)の提供を開始したと発表した。

郎社長は「Nibakoは地域活性化活動の一つ。事業者と消費者をつなぐ懸け橋になりたい」と述べた。新サービスは東京、埼玉、千葉、京都を中心に始め、来年度から全国に拡大。2025年度に3500台を配備し、安定収益化を目指す。

して企画した。21社が参加し、個別ブースを設けた。樹脂部品の企画から設計、製造を手がけるアイチシステム(本社豊田市)は、小型の内装部品を塗装する工程で、複数の部品を同時に回転させながら塗料を吹き付けることで、塗料の使用量を削減した事例などを紹介した。

仕入先21社が 社内で展示会

豊田合成

荷台に移動販売用の荷箱を設置し、販売会社から事業者にレンタルする。移動販売のスキルやノウハウなどのアドバイスを、ウェブで出店可能な場所の情報や事業者同士のコミュニケーションセンサー、消費者向け出店情報の掲載などを提供する。

豊田合成は6日、稲沢市の北島技術センターで、同社の仕入先部品メーカーが自社の生産技術や設備などを紹介する社内展示会を初めて開いた。自動車の次世代技術「CASE」や脱炭素化など業界が変革する中、各社が強みを共有することで競争力を高める。

同社の仕入先部品メーカー69社で構成する「協和会」が、「勝ち技展示会」と称

「互いの強みを知ること」で、新しい付加価値を創造するきっかけとなれば」と話した。

ヤリス2カ月連続首位 8月新車販売

8月の車名別国内新車販売台数は、トヨタ自動車の小型車「ヤリス」が1万4041台で、2カ月連続の首位となった。前年同月比では24・0%減と低調だったが、派生車種の小型スポーツタイプ多目的車(SUV)「ヤリスクロス」を含め、優れた燃費性能や小回りの良さが相対的に評価さ

れた。日本自動車販売協会連合会と全国軽自動車協会連合会が6日発表した。ヤリスは軽以外の自動車(登録車)としては4カ月連続でトップだった。

2位は2カ月連続でホンダの軽「N-BOX(エヌボックス)」が入り、15・9%減の1万1130台だ

京都などでの実証実験で、利便性やディスプレイ効果が高い立体的な陳列やゾーニングを検証した。荷箱は3カ所の扉が開き、小物類や野菜、果物など多様な業種業態に対応できる。料金は車両込みで1日プラン1万3200円、1カ月プラン6万6千円。荷箱のみのレンタルも計画する。

「コロナ禍などでEC(電



21社がブースを設け、自社の強みを紹介した